

令和7年2月6日

教育関係者の皆様

横浜市立旭小学校
校長 益子 照正

「横浜市立旭小学校」と「慶應キッズパフォーマンスアカデミー」とのコラボレーションによる GPS テクノロジーを活用した運動プログラム公開、および関連シンポジウム開催のお知らせ

- 1 概要
 - ・プロスポーツ界（ラグビー・サッカー等）でも導入されはじめ、世界的に注目されてきたGPSによってプレイヤーの個人データを取得・活用して、チームおよび個人の強化を図るテクノロジーを、小学校の授業に取り入れ、その効果を検証する。
 - ・個人データを根拠とした課題解決学習成立により、児童の運動との関係性向上および行動変容の実現を検証する。
- 2 目的
 - ・運動データを通じて自分を知り、自ら考え、工夫し、成長させるサイクルを実践する
 - ・運動の上達だけを目指すのではなく、運動がもつ様々な側面を知る
 - ・定性的・定量的なデータ活用の意味を知る（努力と数値）
 - ・成功体験や取組を通して、自己肯定感の向上を図る
 - ・将来的に以下の資質・能力に反映する
○運動（健康）への関心向上 ○データの利活用能力 ○ライフスキルへの転用

3 日時・会場

【旭小学校・運動プログラム授業（6年生）公開】

令和7年 2月27日（木） 11：15～12：15

横浜市立旭小学校 校庭 （横浜市鶴見区北寺尾4-25-1）

※8：45より順に6年生4クラスが1クラスごとに授業を行います。4クラス目のプログラムを公開します。（進行＝本校研究主任 玉置 哲也 主幹教諭）

※雨天・荒天等の場合は、3月5日（水）に延期します

【慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科主催・シンポジウム】

※本校運動プログラムの取組紹介を含みます

「KKPA シンポジウム 2025「子供のためのスポーツデータ利活用」
～誰もがスポーツを楽しむ Well-being な社会の実現を目指して～

令和7年 3月 1日（土） 13：00～15：30

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館AICラウンジ

（横浜市港北区日吉4-1-1）

※シンポジウムの詳細は以下のリンクにてご確認ください

<https://peatix.com/event/4295064/view>（外部サイト）

- 4 参 加 費 いずれも無料
- 5 内 容 G P Sを活用した運動データ計測により、自己の運動を可視化し、年間3回の計測によって得られた自身のデータ分析により、その伸びを確認して自己肯定感の向上をねらう
- ・自分の最大出力が「うまくつかえている」、「いない」を感じ取る機会とする
- 【測定プログラム】
- ◆ポテンシャル測定（全力度測定：現在の自分自身が出せるいちばん大きな値）
〔40m走測定〕⇒最大加速度 最高速度（継続的に自分の能力を発揮できる値）
 - ◆パフォーマンス測定（頑張り度測定：MAX値は常時出力できない）
〔タグ鬼ごっこ〕⇒加速回数（60％・80％） 運動量（移動距離）
 - ・2チームに分かれて、学習者1名がタグを2本付ける
 - ・タグを取られても退場ではなく、プレーを継続
 - ・最終的にタグの保有率が高いチームが勝ち
 - ・4チーム制（コート2面）※総当たり戦
 - ・ゲーム時間は45秒
- 6 申 込 方 法 旭小学校 運動体験プログラム公開
- ・右のQRコードよりお申し込みください
（電子データの場合、QRコードをクリックするとフォームに接続します）
- 
- 慶應義塾大学主催 シンポジウム
- ・リンク先の外部サイトにてお申し込みください
定員があるためWEBサイト上での事前申込が必要です
<https://peatix.com/event/4295064/view>（外部サイト）
- 7 そ の 他 ・雨天等、コンディション不良による体験プログラム延期の決定は、前日の判断、もしくは事業当日の7：00に判断し、旭小学校WEBサイトにて発表する
旭小学校WEBサイト <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/>
- ・本体験プログラムは「パナソニック教育財団研究助成」によって実施している
 - ・本年度第1回計測の様子が横浜版タウンニュースに掲載されています
記事はこちら <https://www.townnews.co.jp/0116/2024/10/24/756528.html>
- 8 問 合 せ 先 横浜市立旭小学校 校長 益子 照正 045-581-4178